
QE for UART V1.0.0 [テクニカルプレビュー版]

R20UT4255JJ0100

Rev.1.00

リリースノート2018.02.20

この度は、ルネサスソリューション・ツールキットー各種アプリケーション対応開発支援ツール QE (Quick and Effective Tool Solution) 製品である、QE for UART V1.0.0 [テクニカルプレビュー版] をご使用いただきまして誠にありがとうございます。

このリリースノートでは、本製品のインストール方法および、お願いを記載しております。ご使用前に、必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。

目次

1. QE for UART について.....	2
1.1 製品の概要	2
1.2 動作環境.....	2
1.3 対応マイコン.....	2
1.4 対象 SCI (UART) ドライバ.....	2
2. インストール／アンインストールについて.....	3
2.1 本製品のインストール方法.....	3
2.2 本製品のアンインストール方法.....	3
3. テクニカルプレビュー版アンケートについて.....	4
3.1 本製品の位置づけ	4
3.2 ご使用後アンケートのお願い	4

1. QE for UART について

1.1 製品の概要

QE for UART は、統合開発環境 e² studio 上で動作するソリューション・ツールキットのひとつです。RX ファミリの UART 通信機能を使用した組み込みシステム開発において、UART 通信の初期設定や通信処理のデバッグを支援します。

ソリューション・ツールキットおよび QE (Quick and Effective tool solution) についての詳細は以下の URL を参照してください。

<https://www.renesas.com/qe>

1.2 動作環境

Microsoft Windows 7、Windows 8.1、Windows 10

Renesas e² studio V5.4.0 (またはそれ以降)

1.3 対応マイコン

- ・RX ファミリ

※ ボーレート表示機能は、以下のグループのみ対応。

RX113、RX130、RX231、RX230、RX65N、RX651、RX64M、RX71M

1.4 対象 SCI (UART) ドライバ

- ・ FIT モジュール r_sci_rx Rev.2.00
- ・ コード生成 SCI (SCIF) 調歩同期式モード バージョン 1.0.0 (スマート・コンフィグレータのコンポーネント)

(*) 上記ドライバを使用しない場合でもデバッグ・コードを手動で追加することにより各機能を利用できます。

2. インストール／アンインストールについて

2.1 本製品のインストール方法

本製品をインストールするには、下記の手順で行います。

1. e² studio V5.4.0 (またはそれ以降) を起動する。
2. [ヘルプ(H)]→[新規ソフトウェアのインストール...]メニューを選択し、[インストール]ダイアログを開く。
3. [追加(A)...]ボタンを押下し、[リポジトリを追加]ダイアログを開く。
4. [アーカイブ(A)...]ボタンを押下し、開いたファイル選択ダイアログで、インストール用 zip ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンを押下する。
5. [リポジトリを追加]ダイアログで、[OK]ボタンを押下する。
6. [インストール]ダイアログに、表示された[Renesas QE for UART]チェックボックスをチェックし、[次へ(N)>]ボタンを押下する。
7. インストール対象が [Renesas QE for UART] となっていることを確認し、[次へ(N)>]ボタンを押下する。
8. ライセンスを確認した後、[使用条件の条項に同意します(A)]ラジオ・ボタンを選択し、[終了(F)]ボタンを押下する。
9. 信頼する証明書の選択ダイアログが表示された場合、表示された証明書をチェックした後、[OK]ボタンを押下してインストールを継続する。
10. e² studio の再起動を促されるので再起動を行う。

2.2 本製品のアンインストール方法

本製品をアンインストールするには、下記の手順で行います。

1. e² studio を起動する。
2. [ヘルプ(H)]→[インストールの詳細]メニューを選択し、[e² studio のインストール詳細]ダイアログを開く。
3. [インストールされたソフトウェア]タブに表示されている[Renesas QE for UART]を選択し、[アンインストール(U)...]ボタンを押下して、[アンインストール]ダイアログを開く。
4. 表示された内容を確認し、[終了(F)]ボタンを押下する。
5. e² studio の再起動を促されるので再起動を行う。

3. テクニカルプレビュー版アンケートについて

3.1 本製品の位置づけ

QE for UART V1.0.0 は、テクニカルプレビュー版です。お客様からのフィードバックにより、より良い製品にすることを目的としています。

3.2 ご使用后アンケートのお願い

より良い製品にする為に、製品へのご意見・ご要望をお寄せください。

ご意見・ご要望連絡先メールアドレス：

qe_feedback@lm.renesas.com

[アンケート内容] ※お答えいただける範囲で構いません

- お名前
- 会社名、部署名
- ご使用の目的
- QE for UART は、頂きましたフィードバックを元に、機能強化した製品版を開発予定です。
製品版を使いたいと思いましたが？ [はい・ いいえ]
- ご意見：[(○○機能は××な点が使いにくい。△△になるとより良くなる…等)]
- USB や UART の他に QE シリーズで対応してほしいアプリケーション
[例えば、Wi-SUN/Sub-GHz、I2C、PLC、音声再生…]

ホームページとサポート窓口

ルネサス エレクトロニクスホームページ

<http://japan.renesas.com/>

お問い合わせ先

<http://japan.renesas.com/contact/>

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含みます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 当社製品、本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、リバースエンジニアリング、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製、リバースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。

標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、
家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等

高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通制御（信号）、大規模通信機器、
金融端末基幹システム、各種安全制御装置等

- 当社製品は、データシート等により高信頼性、Harsh environment向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じて、当社は一切その責任を負いません。
6. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
 7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、Harsh environment向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っていません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
 8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
 9. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
 10. お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものといたします。
 11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
 12. 本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明な点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。
- 注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的に支配する会社をいいます。
- 注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.4.0-1 2017.11)



ルネサスエレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス株式会社 〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24（豊洲フォレシア）

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<https://www.renesas.com/contact/>